学校番号	3005

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「わたしたちの地理総合　改訂版」　（山川出版社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業は、教科書の内容に沿ってプリントに書き込みながら進めていきます。
視覚的に学習しやすいように図表や写真などをスライドで提示します。
他者と協同しながら主体的に課題に取り組み、協調性を養いましょう。

2　学習の到達目標

・地図などの見方や世界の地理的事象について、基礎基本的な知識を習得し、活用する力を身につける。
・社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野で物事を考えていく思考力を身につける。
・地理に関わる諸課題の解決に取り組む姿勢を育むことで、グローバル化する国際社会で主体的に生きる力、及び平和で民主的な社会の形成者として必要な資質・能力を育成することをめざす。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解している。 地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連、位置や分布、人間と自然環境との関係、空間的相互依存作用などに着目して、様々な立場から考察したり、環境問題などの地理的な課題の解決方法を構想する力や、それらを効果的に説明したり、議論する力を養っている。	地理に関わる諸事象の課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さを身につけている。

上に示す 3 つの観点をそれぞれ学習のまとまりごとに評価し、それを総合して学年末に５段階の評定にまとめます。それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	1章　地図とGISの活用 1節　球面上の世界と地図の活用	・球面上の世界と地図 ・時差と生活 ・世界地図でとらえる地球 ・国家の領域と海洋の役割 ・日本の位置と領域 ・身のまわりのさまざまな地図 ・地図とGIS	a:球面上の位置・方位・距離、世界地図の特徴、時差の仕組みを理解している。日本の位置と領域について理解している。地図に関する基本的な知識を身につけ、日常生活において地図を利用することができる。 b:世界地図を適切に活用し、世界地図のそれぞれの用途を理解できている。世界的視野から日本の位置をとらえ、海洋国家としての日本の特徴や役割について理解できている。紙の地形図と電子地形図の違いを考慮し、地図や地理情報システムを使用目的に応じて適切に表現している。 c:時差が日常生活や経済活動に与える影響を自ら調べようとしている。日本の位置と領域・海洋国家としての特徴について、自ら調べ考察しようとしている。身の回りの地図に興味を持ち、積極的に活用し、作業学習に積極的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 授業プリント	課題 自己評価
	2節　国家間の結びつき	・国家群による結びつき ・貿易による結びつき ・交通・通信による結びつき ・観光による結びつき	a:地球規模の地域的な結びつきと、経済活動を通じた日本と世界各国の結びつきを理解している。 b:国際関係を整理し、国家間格差について考察している。観光による結びつきが社会に与える影響について考察している。 c:国家間の繋がりに影響する事象を多面的に考察し、世界貿易などの地球規模の課題について自分なりの意見をまとめようとしている。	定期考査	定期考査 授業プリント	課題 自己評価

	2章　生活文化の多様性と国際理解 1節　自然環境と生活文化	・地球上の地形のなりたち ・山地と平野の生活 ・海岸部の生活 ・地球上の気候のなりたち ・暑い気候に対応した生活 ・乾燥した気候に対応した生活 ・季節の違いに対応した生活 ・寒冷な気候に対応した生活	a：自然環境が人々の生活文化や産業などに深く関わっていることを理解し、地形や気候の特徴を、雨温図や写真などから読み取ることができる。地形図から地形の特徴や土地利用を捉えることができる。 b：地形や気候のなりたちを考察し、ケッペンの気候区分から各気候分布の規則性を捉え、地域ごとの生活文化を写真や地形図から考察できている。地形や気候などの自然環境と人々の生活文化の関係性について、複数の資料を関連させながら考察できている。 c：世界の地形・気候のなりたちについて興味・関心をもって授業に臨み、我が国の国土に関する諸課題を捉え、主体的に学ぼうとしている。地形図や雨温図、統計資料などを理解し、自ら表現することに意欲的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 授業プリント	課題 自己評価
	2節　多文化共生社会と生活文化	・世界の宗教 ・仏教圏の生活文化 ・キリスト教圏の生活文化 ・イスラーム圏の生活文化 ・イスラーム圏の地域性 ・世界の言語 ・植民の歴史と生活文化 ・多文化共生の実現	a：世界の言語・宗教を通じて現代社会の諸課題の背景や現状を理解できている。日本と異文化の繋がりを考え、異文化を尊重する姿勢を有している。 b：言語・宗教の分布の理由を考察し、世界の言語や宗教、民族に関わる諸課題の背景を構造的に認識することができる。 c：宗教、民族に関わる現代世界の諸課題について、日本との関わりも考えながら主体的に捉え、多文化共生社会の実現について自分の意見をまとめている。	定期考査	定期考査 授業プリント	課題 自己評価
	3節　産業の発展と生活文化	・農業の地域性 ・農業と生活文化 ・工業の発展 ・工業の発展による変化 ・工業の発展と国際分業 ・脱工業化の動き	a：世界の産業の特徴を捉え、写真、グラフなどの資料からアジアの経済活動の発展を読み取ることができる。 b：世界の産業の特徴と自然環境や生活文化との関連性を考察し、複数の資料から多角的に考察しまとめることができる。 c：複雑化する産業構造を複数の資料から主体的に考察し発表している。	定期考査	定期考査 授業プリント	課題 自己評価

後期	4節　グローバル化の進展と生活文化	・グローバル化の進展と課題 ・地域統合による変化	a:アメリカの多様性やグローバル化について、その背景や現状を理解することができる。ＥＵの成立や発展について、時系列を踏まえて理解することができる。 b:グローバル化の成果と課題について、資料を検討して考察することができる。ＥＵ統合の影響や課題について、具体的な事例を通して考察することができる。 c:グローバル化の進展や地域統合について、論点を整理して考察し、自分の意見をまとめている。	定期考査	定期考査 授業プリント	課題 自己評価
	3章　地球的課題と国際協力 1節　人口問題	・世界の人口問題 ・自然増減にかかわる人口問題 ・人の移動と難民問題 ・少子高齢化と人口減少	a:各国の人口政策や諸問題について理解できている。人口ピラミッドや主題図などの資料から問題の所在を読み取ることができる。 b:世界の人口問題や難民問題の特徴やについて、資料を用いて考察し、課題を見つけることができる。 c:人口に関わる世界の諸問題について、主体的に考察するだけでなく、自然的・社会的背景につながる資料も関連させながら意欲的に分析を進めようとしている。	定期考査	定期考査 授業プリント	課題 自己評価
	2節　食料問題	・世界の食料問題 ・世界の水問題 ・食料不足の問題	a:世界の食料問題の現状や背景について、気候変動や人口問題、紛争などの観点を踏まえて理解できている。 b:世界の食料問題や水問題の特徴を、資料を用いて考察し、気候変動やモノカルチャー経済などの社会的・自然的背景と関連させながら構造的に捉え、解決方法を構想できる。 c:食料問題が世界規模でつながる地球的課題であることを捉え、日本の将来像についても意欲的に考察している。	定期考査	定期考査 授業プリント	課題 自己評価

	3節 居住・都市問題	・世界の居住・都市問題 ・人口集中による都市問題 ・都市の再開発	a:都市に人口が集中する要因、人口集中に伴う問題点、再開発の課題について、論点を整理して理解できている。 b:途上国や先進国の都市問題を主題図や写真、資料などから判読し、問題点や課題などを考察することができる。 c:途上国や先進国の都市問題を事例として、先進的な都市政策を参考にしながら、主体的に課題解決策を構想している。	定期考査	定期考査 授業プリント	課題 自己評価
	4節 資源・エネルギー問題	・エネルギー資源の産出・消費と課題 ・鉱物資源の産出と消費 ・再生可能なエネルギーへの移行	a:エネルギー資源の変化を概観し、再生可能エネルギーや鉱産資源のリサイクルについて理解できる。 b:資料をもとに資源の偏在性、有限性、消費などの諸課題を読み取ることができる。将来的な需要について、資料をもとに予測し、国際協力や技術開発を推進する必要性について考察し活用しようとしている。 c:エネルギー資源の問題が、自然環境・政治・経済・国際関係などと幅広く関連していることを理解したうえで、エネルギーの在り方について自分の意見を持つことができる。	定期考査	定期考査 授業プリント	課題 自己評価
	5節 地球環境問題	・地球温暖化 ・熱帯林の減少 ・砂漠化の進行	a:地球温暖化・熱帯林減少・砂漠化など、地球規模でおこっている環境問題のしくみを構造的に理解できている。 b:地球環境問題の解決には、その背後にある政治・経済的な課題解決も求められることを踏まえて考察している。 c:地球規模の環境問題が人々の生活に与える影響について意欲的に学び、解決のため、自分自身に何ができるかをSDGsの視点から考察し、具体的な取り組みを構想しようとしている。	定期考査	定期考査 授業プリント	課題 自己評価
	4章 生活圏の諸課題 1節 自然災害と防災	・日本の地形と生活 ・日本の気候と生活 ・気象災害と防災 ・火山の噴火と防災 ・地震・津波と防災 ・都市特有の災害と防災 ・防災・減災への心構え	a:日本の地形や気候の特徴、地震や自然災害について、地形図や写真、資料などを用いて具体的に理解できている。 b:日本の地震や自然災害について、過去の事例などを踏まえて考察している。土砂災害の危険性などをハザードマップなどから読み取ることができる。 c:防災や減災への意識を高め、自然災害に備えるにはどうすればよいかを具体的に考察できている。	定期考査	定期考査 授業プリント	課題 自己評価

	2節　持続可能な地域づくり	・生活圏の課題の発見 ・地域調査	a:地域調査の意義やその取り組み方法について、理解している。 b:地域調査について各班で話し合ってテーマを設定し、具体的な方法を検討している。 c:地域調査について、各班で意見をまとめて調査を行い、調査結果を考察して、見えてきた課題を共有している。	定期考査	授業プリント	課題 自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度